

—化粧品開発における—

1名分料金で  
2人目無料

# 魅力ある製品の作り方と ビジュアルデータを用いた使用感の伝え方

◆日時:2018年10月30日(火) 12:30~16:30

◆会場:新宿文化センター 4F 第2会議室

◆聴講料:1名につき49,980円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申し込みされた場合、1名につき47,250円

・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で49,980円)

※大学生、教員のご参加は、1名につき受講料10,800円です。

(ただし、企業在籍者は除きます。また、2人目無料も適用外です。)

## セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師 : (株)エフシー総合研究所  
sukai美科学研究所

顧問  
代表 菅沼 薫 氏

## 【第1部】

精度の高い化粧品官能評価と物性試験、  
触感の不易流行

## 【講演の趣旨】

化粧品の使用感評価には、主観的評価(官能評価)が重要である。そこで、官能評価の基本から、触感、使用感の捉え方、評価項目・評価尺度の決め方、評価用語の発想と選定、専門パネルの作り方について実例を交えてお話しする。

そして、官能評価の裏付けともなる機器計測で得られる物理的特性の扱い方・考え方を伝えたい。また、関連の高い物性計測と触感の研究事例についても述べる。

また、人や社会には不易流行の意識がある。化粧品市場においてもその傾向は顕著である。化粧品の使用感においても、時代とともに移り変わるものと変わらない好ましい触感があるのか検証したい。

## 【習得できる知識など】

触感現象の物理化学的な捉え方  
化粧品使用感の主観的評価法  
化粧品評価技術  
化粧品処方開発のヒント

## 【プログラム】

1. 触感、使用感の捉え方
2. 化粧品評価方法  
評価項目・評価尺度の決め方  
評価用語の発想と選定  
専門パネルの作り方、サンプル設定
3. 化粧品評価の実例
4. 触感における好みの不易流行

## 【第2部】

新商品の「魅力」の生み出し方・伝え方のコツ

## 【講演の趣旨】

魅力ある商品とはなにか、魅力ある商品に求められる感触とはどのようなものかを考える。また、化粧品の使用感が人に正しく楽しく伝わる仕組みを、18年続いている講談社VOCE「実験VOCE」を例に、良い結果や商品特徴を正しく、お客さまに理解、納得してもらえる伝え方のコツやビジュアルデータの役割について示す。

さらに、ものごとをどうやって考えるか、新しいものをどうやって生み出すか、その発想法の訓練についても示したい。

## 【習得できる知識など】

顧客満足度の高い商品研究  
化粧品使用感の伝え方  
ビジュアルデータの作り方  
化粧品処方開発のヒント

1. 魅力ある商品とはなにか
2. 魅力ある商品に求められる感触とは
3. ビジュアルデータの役割
4. 悪いビジュアルデータとは
5. 消費者の心にささる、ビジュアルデータの作り方、考え方
6. 新しいものを生み出す発想法

【質疑応答・名刺交換】

## 『化粧品官能評価』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	
お名前	所属・役職	E-Mail	
①			
②			

## ● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、弊社へFAXでお申込み下さい。

弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。  
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。  
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送